

第 252 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：令和 8 年 6 月 17 日（水） 14：30～15：10

場 所：浜田市立中央図書館 2 階多目的ホール

出席者：久佐教育長 杉野本委員 倉本委員 浅津委員 三浦委員

事務局 佐々木部長 藤井課長 龍河担当課長 山口課長 岡田室長
官澤課長

書記：日ノ原係長 津野主事

議事

1 教育長報告

2 議題

- (1) 浜田市立図書館協議会委員の委嘱について（資料 1）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

- (1) その他

1 教育長報告

久佐教育長

皆さん、こんにちは。梅雨入りと言いながら、昔に比べると印象が異なり、雨があまり降らない蒸し暑い時季となった。そのような中で、学校でも暑さ対策の一環として、5 月、6 月に運動会を開催している学校もある。併せて、中学校のブロック大会が 6 月 3 日、4 日に浜田で開催されており、委員方にもご出席いただき、ありがとうございました。

それでは、教育長報告に沿って活動報告をさせていただきます。

- ① 5 月 28 日（木）教職員評価システム管理職面接（～6 月 3 日：教育長室）

5 月 28 日、29 日、6 月 2 日、3 日の四日間をかけて、小中学校の校長、教頭を対象に、評価育成シートに基づく評価面接を行った。各管理職の目標を総じて見ると、主には教育目標を具現化する組織マネジメント、特に今回は事務所訪問等でもあった働き方改革、学力向上、コミュニティ・スクールといった内容を目標に掲げておられる校長先生がほとんどであった。

組織マネジメントについては、それぞれの校長先生方がお便りで発信するとか、ミニ研修を行うとか、特に現在、若年層が

厚くなり、50 歳以上の層が厚くなる一方で中間層がいなくなるということでの人的な配置や業務の進め方など、組織の中での取組を工夫しておられた。

私からは特に、管理職の方が数値目標で目標設定されているのではなく、行動目標として「こういう指導をする」「こういう研修を行う」といった指導目標を立てられている管理職については、そのことを実行した後のアウトカムとして、どのような行動の変化を先生方に期待しているのか、どのような姿を想定しているのかを確認させていただいた。これはチェックのためというよりも、校長先生が目指している姿が職員同士の共通目標になるように、その姿がこうだねとフィードバックできるものとして、目指す姿をきちんと言葉に出していただくことを目的にした。多くの先生方がきちんとその目標を言葉に出していただき、より具体的なイメージを持った学校経営をされていることを感じた。

② 6 月 7 日（日）浜田市総合防災訓練（講堂）

6 月 7 日に浜田市の総合防災訓練が行われた。今回は、浜田に導入された災害 WEB システムを使用し、警戒レベル 5 の緊急安全確保が発令されたという想定で訓練が行われた。新しいシステムが導入されたため、情報伝達や避難、各所の報告など、一連の流れを想定した訓練が行われた。浜田市内の学校も多くの場所が避難所になっており、今回は原井小学校がそのような場所となり、別途同行避難方法や電気自動車による通電の状況など、そのようなことについても訓練した。

③ 6 月 8 日（月）第 1 回浜田市立学校統合計画審議会（講堂）

6 月 8 日に学校統合計画審議会を開催した。急激な少子化に伴い、計画の途中ではあるが、老朽化した校舎という部分的なものだったものを、浜田市全域を対象として、今後の適正規模や適正配置の検討をいただく会議である。これから概ね 2 か月に 1 回程度のペースで検討を進め、令和 9 年度に答申をまとめていただく予定としている。ただし、石見小学校は計画の途中で一旦見直すことになっているため、改めて検討をお願いしたところである。委員方からは、中間ででも何らかのまとめを出す必要があるのではないかといったご意見もいただいている。

以上が私からの報告となるが、ご質問やご意見があるか。
特になし。

各委員

2 議題

(1) 浜田市立図書館協議会委員の委嘱について（資料 1）

藤井課長	資料 1 をご覧いただきたい。浜田市立図書館協議会委員の委嘱についてお諮りさせていただく。 浜田市立図書館協議会委員については、条例により任期を 2 年と定めている。今年度は新たに委員を委嘱する年となっているため、ご審議をお願いするものである。 委員選出に当たっては、前回と同様の関係団体等に委員の推薦をお願いした。推薦いただいた委員のうち、浜田市社会福祉協議会推薦の芹原克博さん、浜田市まちづくりセンター合同連絡会推薦の長松仁さん、浜田市 PTA 連合会推薦の渡邊哲也さん、以上 3 名が団体より新規にご推薦いただき、それ以外の 7 名の方については、前回任期の委員と同じ方を推薦いただいている。 任期は令和 8 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日までである。 ご審議のほどよろしく願います。
久佐教育長	ただいま事務局から説明のあった委員の委嘱について、ご意見があるか。
各委員	特になし。
久佐教育長	特にご異議がないようであれば、ご承認いただけるか。
各委員	全会一致で承認

3 部長・課長等報告事項

藤井課長	行事等予定表（資料 2） それでは、資料 2 の行事等予定表をご覧いただきたい。 教育委員方に特にお願いしたいところについては、まず前回の定例会で説明させていただいた 7 月 7 日、8 日の教育委員会学校訪問である。先般配付した学校要覧のファイルをお持ちいただきたい。出発時間については、7 月 7 日は朝 8 時 30 分に、7 月 8 日は朝 8 時 45 分に北分庁舎裏の駐車場に集合ということになっているため、よろしく願います。 次に、7 月 13 日の島根県市町村教育委員会連合会理事会である。こちらは杉野本委員にお願いをさせていただいている。よろしく願います。 続いて、第 253 回教育委員会定例会は、7 月 24 日金曜日の 14 時半から浜田まちづくりセンターで開催するため、よろしくお
------	--

久佐教育長
各委員

願います。

説明は以上である。

ただいまの説明について、ご質問等があるか。

特になし。

龍河担当課長

こどもの権利に関する条例制定のスケジュール案等について
(資料 3)

資料 3 をご覧いただきたい。こどもの権利に関する条例制定のスケジュール案等についてである。

5 月 26 日開催の浜田市議会文教厚生委員会に子ども・子育て支援課から提出し説明した資料で、子どもに関する施策のため、本日の定例会でもご説明させていただくものである。

まず、条例制定までのスケジュール案についてである。令和 8 年度から 3 年かけて取り組む予定の、こどもの権利に関する条例制定事業について、主なスケジュール案を示している。

条例制定に向けて、各関係者にご相談したり様々なアドバイスをいただいたりする中で、初年度は条例制定に向けて必要な取組やスケジュールを検討するとともに、子どもや市民に子どもの権利について理解していただく取組を行う予定としている。それから、子ども自身が条例制定に参加するための基盤作りとして、資料にあるとおり、7 月 20 日にこどもワークショップと市民講座を、翌日 21 日には、関係部署や子どもに関わる大人などを対象とした研修会を開催し、今後は制定委員会の設置に向けて取り組んでいく方針としている。

ワークショップについては、別添としてチラシを添付している。1 枚目のカラフルなものが小学生向けで、2 枚目が中学生及び高校生向けである。小中学校については、校長会及び教頭会へ説明に伺い、今週中に児童生徒配布用のチラシを教育委員会のボックス便で各学校へ配布する予定としている。高校については、浜田高校、浜田商業高校、浜田水産高校の生徒には教育委員会から個人のタブレットへ直接配信し、養護学校及びろう学校の生徒に対しては、学校から保護者宛てにメールを送っていただき、保護者から生徒に伝えていただくように予定している。詳細については関係機関に周知するとともに、広報はまだ 7 月号にも掲載する。

こどもワークショップは、子どもが自由に発言できるように

	関係者以外は非公開とするが、意見をまとめた後の報告と交流会には、市長、教育長にもご出席いただく予定となっている。市民講座もあるため、ご都合がつくようであればご出席いただきたいと思う。 資料 3 の 2、制定に向けた進め方についてであるが、条例制定に係る業務については、これまでも既に多くの助言をいただいている特定非営利活動法人子どもの権利条約総合研究所へ業務委託し、今年度は資料に示している業務内容についてサポートしていただく予定である。なお、当研究所は、こどもの権利条約に関する総合的かつ実践的な研究を進めることを目的として平成 14 年に設立され、大学教員や研究者などで構成されている。長年こどもの権利に関する研究に取り組みられており、近年では、例として挙げている埼玉県和光市など、こどもの権利に関する条例制定に取り組む多くの自治体へ助言等を行っておられる団体である。 説明は以上である。
久佐教育長 三浦委員	ただいま説明があった件について、ご質問等があるか。 このワークショップの主催者である東洋大学人間科学総合研究所は、業務委託先である特定非営利活動法人とは別のつながりがあるのか。
龍河担当課長	子どもの権利条約総合研究所のメンバーに東洋大学の教授陣が多くおられ、浜田市の取組を大学の中で伝えられたところ、大学として是非協力をしたいということで、大学の研究費用等を出していただいて、このイベントを一緒に開催することになった。
三浦委員 久佐教育長 龍河担当課長	承知した。 このワークショップは非公開ということでよいか。 ワークショップ自体は非公開で、子どもたちには安心する場で自由に話をしてもらいたいということで、関係者以外の傍聴は難しいかたちになっている。ただし、午後の市民講座には大人も参加でき、21 日は職員等を対象にした講座も開催するため、そちらに参加していただきたい。
久佐教育長 各委員	その他はいかがか。 特になし。
山口課長	令和 8 年度学校別児童生徒数一覧表の訂正について（資料 4）

久佐教育長
各委員

岡田室長

資料 4 をご覧いただきたい。令和 8 年 5 月 1 日現在の児童生徒数の訂正がある。申し訳ございません。

訂正箇所は赤色で記載しているが、長浜小学校の 5 年生と 6 年生が 1 名ずつ多かった。訂正後が 5 年生 40 名、6 年生 41 名である。また、裏面の金城中学校の第 3 学年が正しくは 26 名で、小中合計で 3 名多く計上していたため、訂正させていただく。

具体的には当方の確認不足であるが、一つには 4 月の転入、転出の二重計上が長浜小学校の 5 年生と金城中学校の 3 年生で生じた。長浜小学校の 6 年生については、中国からの入学予定者をカウントしていた。正式には 6 月 1 日に入学許可を出しており、本来は居ない児童を計上していたため、訂正をさせていただく。

この訂正に伴う学級編成や教職員の配置等への影響はないため、併せて報告させていただく。大変申し訳ございませんでした。

ただいまの件について、ご質問等があるか。

特になし。

第 3 回（6 月）市校長会資料（資料 5）

資料 5 をご覧いただきたい。6 月の校長会でお話した内容について説明させていただく。令和 8 年度子どもの声でつくる授業と要約学習、それから AI ドリル研修会の 3 点についてお話しした。

校長会の最初のところで、浜田教育事務所長の学校訪問に同行させていただいた際に、学力向上について教育委員会が提唱していることを理解していただき、積極的に取り組んでいただいている様子が伝わってきたことについて頼もしく感じているということを伝えさせていただき、説明に入った。

1 点目は、令和 8 年度子どもの声でつくる授業について、浜田市の捉える学力ということで、先日来何度も説明してきている。三つの観点から整理し、限られた時間の中で、多くの情報を収集、整理し、筋道を立てて表現することについて、浜田市の子どもたちは課題を持っているのではないかとということである。それを解決するために、子どもの声でつくる授業ということで、付けたい力を明確にしたうえで、授業のゴールを子どもの姿で具体的に想定しながら授業を考えていってくださいとい

うことをお願いしている。

そして、今年度それを取り組むうえで、各研究指定校は年間2回以上、子どもの声でつくる授業に基づいて授業を公開することをお願いした。また、浜田市内の小中学校の教職員は、指定校の公開授業または市教研の各部会で実施する研究授業に年間1回以上参加することをお願いした。研究指定校事業以外の学校訪問Bということで訪問させていただいている学校についても、子どもの声でつくる授業に基づいた授業を公開していただくようお願いしているところである。

2点目は、要約学習についてである。子どもたちの課題として、情報の収集、整理という部分の解決に向かっていくところだと思うが、要約学習に継続して取り組んでいる。多くの情報の中から図式化することによって情報を整理し、それを表現するという活動をしているところである。資料Bとして要約学習の手引きがあるが、そこに要約学習の手法等が書いてあるため確認していただきたいことと、学校の提出フォルダに要約学習の資料も保存してあることをお伝えし、活用をお願いしたところである。

3点目はAIドリル研修会である。AIドリルを昨年度から導入して取り組んでおり、各校の利用率が高まってきたところである。改めて今年度も研修を計画しており、オンライン研修については1年間通して受講できるようになっている。対面型の研修では、基本型の研修に加えて、事例共有や活用促進の研修を計画している。オンライン研修についてはもう始まっているところである。

資料Cの下の方にミライシード活用応援ボックスというものが記載されているが、こちらもベネッセコーポレーションから提供していただき、各学校に利用をお願いしているところである。

AIドリルの利用率は少しずつ高まってきているところだが、5月に中学校の利用率が小学校の利用率を超える期間があった。理由を探ると、全国学力・学習状況調査がPBTからCBTへ、コンピューター活用型のテストに変化しているため、それを活用していくためにタブレットに慣れてCBTの問題を解いてみるということが子どもたちの実力を発揮することにつながるということで、中学校では全国学力・学習状況調査前に何度もその

ような取組を行ったことがある。そのために中学校の利用率が伸びたのではないかと想像している。

来年度からは小学校も含めて全ての学校が CBT 化するため、AI ドリル等を活用して CBT にこれからも取り組んでいくことができるよう、ベネッセコーポレーションに協力をお願いしているところである。今後いくつか指定校を選んで CBT に取り組んでもらい、その情報についても全校に流すことができるようにしていきたいと考えている。

最後に、学校によって実態が異なるため、各学校の実態に合わせて最善の取組方で学力育成に取り組んでいただくことをお願いした。

説明は以上である。

久佐教育長

子どもの声でつくる授業等について説明があったが、委員方は要約学習をご覧になったことがあるか。要約学習は結構短い時間でやっていると思うがいかがか。

岡田室長

烏田先生が言われることをすべてやろうと思うと、やはり 1 単位程度の時間が必要になってくる。そうすると朝活動だけではできないということになる。しかし、継続して取り組んでいる学校は、図式化のところだけやるなど工夫しながら取り組んでいただいているところである。

子どもたちは図式化をしたりすることについては非常に興味関心が高く、楽しんでいるという声も聞かれている。また、国府小学校などでは、特別支援学級でも取り組めるように、先生がある程度のところまで作ったものを子どもたちに示して説明をさせるというような活動もしている。いろいろな活用方法を取り入れると、支援学級も含めて取り組むことができるため、教材自体の魅力があるのだろうと思う。

久佐教育長

なかなか説明するとか、文章や物事を構造的に捉えて整理するということが難しく表現ができない、本来なら頭の中でやるプロセスを、文章から図にして、その図を見ながら自分の言葉で話すため、学力的に低いとされる子どもたちでも説明が何とかできているという、ある意味の手応えがある。これまでの読解力や表現力を身につける学習方法とは少しアプローチが異なり、かなり効果的なものではないかと、自分自身の経験から、個人的にはそういった感覚を持っている。

三浦委員

要約学習はあまり理解していない部分も多いのだが、中学生

久佐教育長
三浦委員

岡田室長

が取り組んでいるのか。

中学生も小学生も取り組んでいる。

どの教科の先生がやられるのか。先生によって得意、不得意があるのではないかと思うが、現場的にはどうなのか。

資料5の後ろに「よい図式について」というような資料がついているが、出されたお題をどのように絵や図で表していくかということをしている。浜田市の課題として、各教科で色々な課題を把握して捉えるという、その辺りの情報の収集がうまくいっていないというところがある。例えば、全国学力調査の中でも、こことここが関係しているのではないかと、この問題で問われているところはここなのではないかということを図で表したり、線や矢印などで関係性を表したりすることができていけば、情報の収集のところはクリアできていく。

子どもたちは、入口のところでつまずいてしまうと最後まで取り組めないということが多く起こっている。本当はもう少し頑張れば点数が上がるというところでも、もう諦めてやめてしまっている状況が起きている。この情報収集が、もしかしたら絵に描いたらわかるかもしれないというところだけでも、教科に関わらず、その課題を集めるという点では図式化ができていくと、最初の意欲の問題で課題に取り組めなかった子どもたちが、少しずつ課題に向き合うことができるようになるのではないかという点がある。また、意欲を高めるという点でも、ここの絵を基に説明するのが小学生でも楽しいようで、一生懸命取り組み、1回目ですぐいかなくても次にうまく言えるよう頑張ってみようという記憶付けを図ることができる部分も、おそらく教材の魅力があるからではないかと思っている。烏田先生が作ってくださっている教材文なども保存場所に入れているが、小学校の教員はそういうものを使いながら朝の学習時間などに図式化等に取り組んでいる状況である。

そのため、自分で考えて作ってみようというところまではなかなか難しいかもしれないが、使えるものがあるためそれを使ってやってみよう、それを現実の学習の中でも要約学習で取り組んだことが使えるのではないかと、教科書を見るときに図式化してみるかというような声が出てくるようになってきているため、その辺りが今のところ成功している部分ではないかと思っている。

三浦委員	例えば中学校であれば、これをするためだけの時間を設けるのかとか、先生の教科である国語の中でやるのかとか、その辺りはいかがか。
岡田室長	今は、中学校も小学校も含めて要約学習の教材があるため、それを朝学習の時間などに取り組んでもらっている学校がほとんどである。それを基に授業を進めていく。
久佐教育長	私が見た印象だと、通常の授業ではレクチャーや教えるといった教え方になるが、これは子どもの活動のファシリテーションというか、「こういうところができたね」「それじゃあ次はこんな活動をやってみようか」というかたちである。声のかけ方や関係性はあるにしても、それほど差が出にくい指導方法ではないかと思う。いわゆるレクチャーではなく、ファシリテーションして子どもたちが学んでいくというかたちである。烏田先生が必ずどの学校でも何回か実演してくださり、それを教員が見ているため、進行係のようなかたちで学習が進んでいくという感じである。
三浦委員	担任が大体やることになるのか。
久佐教育長	そうでもない。中学校は教科の指導者がおり、小学校は朝学習だと担任がしたりもするが、色々な職員が関わることもある。
倉本委員	おそらくどの教科でもやっていこうというのが一つの目標だと思う。私自身は、数学でやるのは難しいがそれ以外の科目はほとんどできるぞというイメージを持っているが、例えば研究指定校になっている学校での取組としては、どの教科でもやってみようという方向で動いているのか。一番やりやすいのは国語や社会、理科といった教科だと思うが、そのような科目で動いているのか。それとも全教科でやろうというかたちで動いているのか。できれば全教科でやると面白いと思うが、その辺りはいかがか。
岡田室長	全教科で必ずやりましょうということにはなっていない。取り組みやすいところからやっていくというかたちである。
倉本委員	取り組みやすいというのは、教科的にこの単元はやりやすいからやろうという感じか。
岡田室長	そうである。国語だけなどというよりも、例えば図書館活用の中で行うといった取組をしている学校もある。特に国語を推奨しましょうということではやっていない。
倉本委員	できれば色々な科目で、やりやすい単元で取り組んでいただ

	けると、おそらく子どもたちは使う場所がある程度わかってくる。話したことがあるかもしれないが、英語でも、書いたり読んだりするときに、このようなかたちを使う場合がある。英語だからどうこうではなく、そのような考え方や見方を習慣化することで、幅広いものの見方ができるようになってくるため、効果としては非常にある。要約学習が出てきた時に、是非やってくださいとお願いした。高校でも、社会に出てからも当然役立つ考え方であるため、是非身につけさせてほしいというふうに思っている。
杉野本委員	目指すところは、図式化ができるということよりも、読む文章の構造が理解できるようになるというか、ここが一番大事なキーワードだなとか、このキーワードを詳しくしている言葉があちこちにあるぞなどというような見方で書かれている文章や資料が読めるようになる、そのような能力を付けるところが目指すところであると思う。
岡田室長	そうである。
杉野本委員	現在は、朝学習で短い文章をどんどん練習して、そのような訓練をしながらそういう見方を身に付けていこうということだと思う。そうすると、算数や数学などでも一番聞いている文章はどこなんだとかいう部分にもつながっていくし、色々な教科でもつながる部分があるかなという気がしている。皆さんがそこまでたどり着けるように頑張ってもらいたいと思っている。
久佐教育長	ありがとうございます。
	その他はいかがか。
各委員	特になし。
官澤課長	浜田市文化財審議会の委員構成の変更について（資料 6） 資料 6 をご覧いただきたい。浜田市文化財審議会の委員構成の変更について報告させていただく。 去る 6 月 5 日に寺尾堂委員がご逝去された関係で変更となるものである。なお、後任については、適任者も不在のため欠員とさせていただき、9 名体制で運営していきたいと考えている。 浜田市資料館運営協議会の委員構成の変更について（資料 7） 続いて資料 7 をご覧いただきたい。浜田市資料館運営協議会の委員構成の変更についてである。

久佐教育長 各委員	こちらも同様に寺尾委員が逝去された関係で、後任も不在ということで欠員とし、5名体制で運営したいと考えている。 説明は以上である。 ただいまの2件について、ご質問等があるか。 特になし。
--------------	--

4 その他

(1) その他

久佐教育長 日ノ原係長 久佐教育長 各委員	事務局からその他何かあるか。 特になし。 その他のところで、委員方からご報告や質問があればお願いします。 特になし。
------------------------------------	--

次回定例会日程

定例会 7月24日（金）14時30分から

浜田まちづくりセンター1階第1、2研修室

次々回定例会日程

定例会 8月20日（木）14時30分から

浜田市立中央図書館2階多目的ホール

15：10 終了